

平成30年度 日本橋小学校 外部評価報告書	
評価委員：池田委員長、今江副委員長、田村委員、橋元委員、落合委員、茂木委員、東委員、竹田津委員、木通委員	
報告書作成者：池田委員長	
評価時期	平成31年3月
<b>1 重点目標の評価</b>	
重点目標1について	
<ul style="list-style-type: none"><li>・6年生やボランティア委員会を中心にした児童の自発的な挨拶を活発にする取り組みが行われることで、挨拶を進んで行う児童が増えてきたと感じる。地域の人や学校へ来た来客にも進んで挨拶できるとよい。</li><li>・日本橋小学校の児童であるという自覚をもち、行動できる規範意識の育成を目指したが、姿に課題を感じることもある。生活指導部で作成する学校生活のルールである「日小スタンダード」を積極的に発信してもらい、学校と家庭の共通な価値観で児童を育てていきたい。</li></ul>	
重点目標2について	
<ul style="list-style-type: none"><li>・どの教科でも課題解決を目指す実践を積極的に取り入れられた。今後は、学年の発達段階に応じて思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫を続けてほしい。</li><li>・今年度より始めた自己肯定感についてのアンケートから児童の自分を見つめた現状が分かった。アンケート結果がよくなってきたことに学校の指導の工夫を感じた。</li></ul>	
重点目標3について	
<ul style="list-style-type: none"><li>・オリンピック出場選手や、トップアスリートを招いての実技指導など児童がスポーツを楽しみ、体力を高める取組を実施していることは、大変有意義である。体力テストの結果を受けて、学年に応じて体力を高める工夫がされたことも分かったので、家庭でも協力していきたい。</li></ul>	
<b>2 今後の改善に向けた意見</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・いじめや虐待について、学校や諸機関、地域で把握し、児童の健やかな成長を支えてくべきである。学校のいじめに対する対策をしっかりとアピールすべきであろう。</li><li>・人権尊重教育の素晴らしさは分かるが、どんな姿を求めているのか分かりづらい。日本橋小学校ならではの工夫をもっと発信してほしい。地域も生命や他者を尊重する児童の教育に協力していきたい。</li></ul>	
<b>3 その他の意見</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・学級増で教室は足りたが、トイレや水飲み場での混雑や混乱が危惧されるので、児童の安全を第一に工夫してほしい。</li></ul>	

\* 3月に各学校のホームページで公表していきます。